

環境調査結果のお知らせ

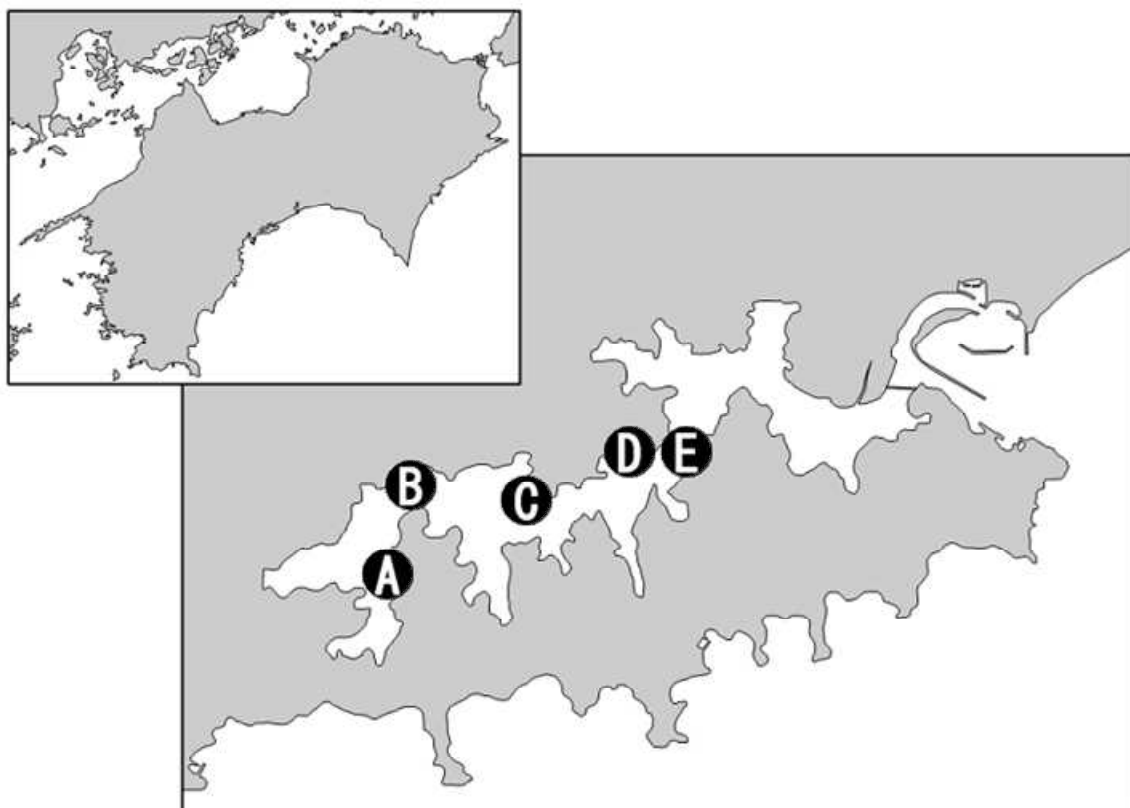
令和6年7月8日10時から浦ノ内湾の環境調査を実施しました。

概況

検鏡の結果、魚類に対して有害なシャットネラ属が最高で1,060 cells/mL、カレニア・ミキモトイが最高で2 cells/mL確認されました。シャットネラ属は漁業被害が想定される密度を超えていますので、十分注意してください。浦ノ内湾養殖漁場の10 m層及び底層が貧酸素状態となっています。今後、貧酸素水塊が5 m層付近まで拡大する恐れがありますので、注意してください。

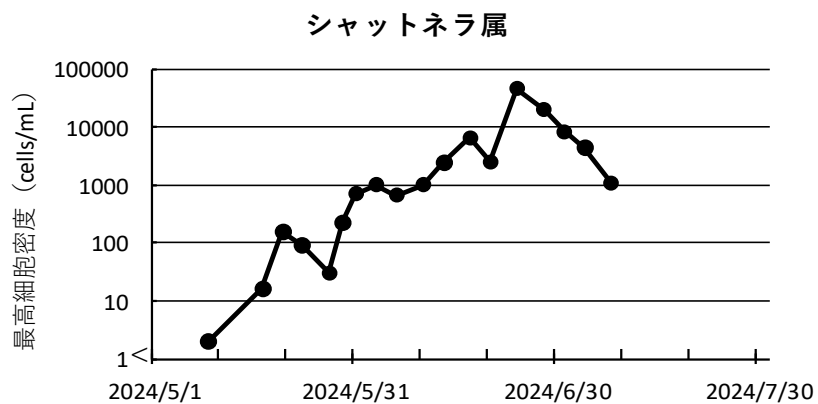
海や養殖魚、貝類の状態に不安や変化を感じた時は、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。

調査点 (透明度) 【調査時刻】	海洋環境				プランクトン		
	深度 (m)	水温 (°C)	塩分	溶存酸素 (mg/L)	カレニア・ ミキモトイ	シャットネラ 属	珪藻
A 鳴無 (2.2m) 【10:20】	0	31.4	26.5	10.1	0	1	-
	2	27.8	29.2	11.8	2	87	-
	5	25.4	29.7	4.1	0	1,060	-
	底層 8	24.6	29.9	0.0	0	460	-
B 中学校前 (3m) 【10:29】	0	31.7	26.3	10.5	0	3	8,700
	2	28.2	29.0	13.1	0	0	1,850
	5	25.4	29.7	7.4	0	740	40
	10	24.3	30.0	0.1	0	90	0
	底層 11.5	24.1	30.1	0.0	0	22	0
C 目ノクソ (3m) 【10:41】	0	31.2	26.9	10.1	0	0	-
	2	27.5	29.0	12.0	0	0	-
	5	25.5	29.7	7.0	0	73	-
	10	24.3	30.0	0.3	0	109	-
	底層 15	23.4	30.4	0.0	0	32	-
D 光松 (3m) 【10:51】	0	30.6	27.4	9.8	0	0	740
	2	27.6	29.1	10.6	0	5	600
	5	26.0	29.9	7.7	0	140	700
	10	24.5	30.3	2.2	0	79	200
	底層 16	23.3	30.4	0.0	0	25	0
E 大鹿 (3m) 【11:02】	0	30.5	27.4	9.4	0	0	-
	2	27.6	29.1	11.1	0	1	-
	5	26.1	30.1	7.6	0	65	-
	10	24.7	30.3	2.4	0	180	-
	底層 16	23.3	30.5	0.0	0	17	-



- A: 鳴無
- B: 中学校前
- C: 目ノクソ
- D: 光松
- E: 大鹿

令和6年度 浦ノ内湾におけるシャットネラ属の最高細胞密度の推移



参考：有害プランクトンの種類と注意及び警戒基準

有害プランクトン	被害	注意基準 (※1)	警戒基準 (※2)	主な赤潮発生時期 ※3		
				浦ノ内湾	野見湾	宿毛湾
<i>Karenia mikimotoi</i> (カレニア・ミキモトイ)	魚類等のへい死	100 cells/mL	1,000 cells/mL	5～8月	6～8月	—
<i>Chattonella</i> spp. (シャットネラ属)	魚類等のへい死	10 cells/mL	100 cells/mL	6～8月	—	—
<i>Cochlodinium polykrikoides</i> (コクロディニウム・ポリクリコイデス)	魚類等のへい死	10 cells/mL	100 cells/mL	—	2～4月	5～6月
<i>Heterosigma akashiwo</i> (ヘテロシグマ・アカシオ)	魚類等のへい死	5,000 cells/mL	50,000 cells/mL	3～12月	4～8月	4～11月
<i>Dictyocha</i> spp. (ディクチオカ属)	魚類等のへい死	—	5,000 cells/mL	6～7月	4月	—
<i>Takayama</i> spp. (タカヤマ属)	魚類等のへい死	—	10,000 cells/mL	8～9月	—	—
<i>Heterocapsa circularisquama</i> (ヘテロカプサ・サーキュラリスカーマ)	二枚貝のへい死	—	500 cells/mL	8～11月	—	—
<i>Alexandrium</i> spp. (アレキサンドリウム属)	二枚貝の毒化	10 cells/mL	100 cells/mL	—	1～4月	3～5月
<i>Gymnodinium catenatum</i> (ギムノディニウム・カテナータム)	二枚貝の毒化	—	1 cell/mL	—	—	2～7月

※1 注意基準：餌食いの悪化、警戒基準に達する恐れのある密度

※2 警戒基準：魚類及び二枚貝のへい死並びに二枚貝の毒化が想定される密度

※3 あくまで目安なので、水産試験場・漁業指導所の広報や養殖魚の状態に応じて、慎重な養殖管理をお願いします。